

をなで降す」と云うこと。

安全 危くはない—大丈夫。

案内する 左の首を右手で持って右へ引く。手を引いて案内すること。

イ

医 右手で左手の脈をとる真似。

云い当てる 「考え」の手まねをしたその右の人差指を、左手の人差指と親指とで（他の三指は伸ばしたまま）つくった輪に当てる。考えが適中したこと。

云いつける 指頭を上にした人差指を口唇にあてがい、真直ぐに前へ勢よく出す。

「命令する」「命ずる」である。

醉い嫌 結婚—約束（男性—或は女性。）

云いふらす 五指を集めて指頭を前方に向けた両手を口許につけると同時に、口を開い

て両手の指を開きながら、左右斜めに離して行く。広く云い伝える。「放送」ともなる。

委員 親指と人差指でコの字形にして、その指頭を胸、乳の上辺りにつける。委員（役員）が胸に徽章をつけていること。

医 院 医—建物（洋館）

云う 指頭を上にした人差指を口唇にあてがって、前へ軽く出す。

云うな 指頭を上にした人差指を、固く閉じた口唇におしつける。一般に誰れもがする身振り。

家 掌を「く」の字形に屈めた両手を向かい合わせて互いの中指の指頭をつけ合せて、家を形どる。指の部分は屋根、下の手甲は壁。

以下 例えば「四以下」とすると、「四」の数を表わしたままの左手の上に、右手の掌を載せ、下へ圧え降す。

**烏賊** いか 掌を内側にして、五指の指頭を下方にさした手の甲を顎の下につけ、五指をぶらぶらさせる。烏賊の脚を表現したもの。

**意外** 「怪しむ」と同じ手まね。但し？を空間に書くのを省く。「不思議」の手まねにもなる。

**以外** 掌を前に向け、五指の指頭を左にさした右手、掌を内側にし五指の指頭を右にさした左手、両手を互いの手甲で背中合わせにしてから、右手を前方へさつと離す。両のものをはっきり切り離れた意味。「別」の手まねにもなる。

**医学** 医——学問。

**怒る** いかむ 憤る いかり 五指を彎曲した両手の指頭を腹部左右に接触させ、腹部の上を掻き廻すように運動させる。腹の中が掻き廻されるような心の状態、怒る心理を表わす。

**遺憾** いひかた 五指の指頭を上にし、掌を左に向

けた右手で右側の頬を打つばかりに、頬と手との間に僅かな隙をおいて、手を忙わしげに左右にこまかく運動させる。「ああ、しまった。残念」と思わず頬へ手をやって、気分のおさまらぬ状態を表わしたもの。

**勢** 握り拳にした手の腕の肘を、力こぶを見せるように縦に曲げる。「力」を表わしたもの。

**生きる** 拳にした両手の腕の肘を横に曲げて左右に張り出す。(「丈夫」の手まね)。

**生き返える** 合掌した両手をそのまま横たえて(死ぬ手まね)から、すぐにもとの手の姿態(合掌)に戻らせて、「生きる」手まをする。

**行く** い 行け い 指頭を上にした人差指を前方、或は左右の何れかの方向に出す(行く)。(向) 下に垂らした手を、前方、或は左右の何れかの方向に出す。